

## 2022年度 後援会イベント参加支援審査結果

No.	団体名	イベント名(大会名) イベントテーマ	実施日 場所	参加 学生数	支援決定金額
1	東京電機大学フォーミュラSAEプロジェクト (理工学部)	「Formula SAE-Australasia2021」 米国のSAE(日本の自動車技術会に相当)がエンジニアを育成するための教育プログラムで、本大会では、車両の運動性能、設計・制作技術やコスト管理能力、プレゼンテーション能力を競う。	2022/12/8(木)～12/11(日) Winton Motor Raceway, Victoria, Australia	19名	460,000
2	TDU Space Project (理工学部)	①「ARLISS 2022」 UNISEC公認のCanSat(飲料缶サイズの模擬惑星探査機)投下試験。 学生団体が製作した“CanSat”を主催者側が用意したロケットを用いて上空4000mから放出し、パラシュートなどの減速機構を用いながら、定められた目標地点へ機体(CanSat)を自立制御させ到達させる。今大会では期待が目標地点までどれほど近づけたかを競う。	2022/9/11(日)～9/16(金) アメリカ ネバダ州 ブラックロック砂漠	1名	200,000
		②「第19回種子島ロケットコンテスト」 CanSatを地上50mの高さからパラシュートで降下させ、着地後、目的地に向けて自動制御で走行させる。 機体が目的地にどれだけ近づけるかとプレゼンテーションによる機体の完成度・アイデアを審査する。	2023/3/6～10予定 鹿児島県南種子町種子島宇宙センター (JAXA)	1名	
3	自動車部 (理工学部学術文化部)	本田宗一郎杯「Honda エコマイチャレンジ 2021 第41回全国大会」 1リッターのガソリンで、どのくらいの距離を走行できるか、車両の燃費を競うアジア圏最大規模のモータースポーツの大会。	2022/10/1(土)～2(日) モビリティリゾートもてぎ	21名	350,000
4	東京電機大学 FCV・EVプロジェクト (工学部)	「ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラーカー・ラリー」 世界三大ソーラーカーレースの一つである、ソーラーカー、燃料電池車、電気自動車などのクリーン・エネルギーを使ったエコを競う自動車大会で、クリーン・エネルギーの開発と活用の促進と共に、次代を担うエンジニアに技術実験の場を提供し、ソーラーエネルギーなどの有効性・可能性を広く全国・全世界に発信及び環境・エネルギー問題への関心を高めることを目的としている。 参加者はチーム単位でオリジナルの車両を製作し、3日間(24時間)の走行距離および技術の独自性を競う。	2022/8/8(月)～8/11(木) 秋田県大潟村「大潟村ソーラースポーツライン」	5名	200,000
5	蹴球部 (東京千住キャンパス体育会)	① 東京都大学サッカーリーグ 東京都大学サッカー連盟には、全38大学(39チーム)が参加。 1部リーグ(12チーム)、2部リーグ(11チーム)、3部リーグとなるチャレンジリーグの3部体制で、申請団体は現在、東京都大学リーグ3部リーグ(チャレンジリーグ、16チームが参加)に所属している。	2022/5/7(金)～2021/10/30(日) 東京都、埼玉県、神奈川県 サッカー場	45名	100,000
		② 新人戦 東京都大学サッカーリーグに所属するチームの新人戦大会で、1、2年生が主体のカップ戦。 全16チームが参加し、新人戦では1、2年生が出場する。申請団体には、現在1、2年生、40名が所属。	2022/11/1(火)～2021/11/30(水) 東京都サッカー場	40名	

**総額 1,310,000**